

寄稿

開催の報告と御礼

館山 嶋田 博信

海とアートの学校まるごと美術館

館山市富崎地区は、学校まるごと美術館「マヅロはえ縄船発祥の漁村として栄え、日本一人口密度が高かったといわれますが、今では市内で最も少子高齢化が進んでいます。」

当会は10年にわたり、富崎地区コミュニティ委員会、NPO法人安房文化遺産フォーラムと協力しながら、歴史文化遺産を生かした地域活性化活動を行ってきました。

大型連休に旧富崎小学校の空き校舎を利活用し、「海とアートの

谷家住宅」と合わせて延べ1700人の方が来場しました。

アンケートでは「素晴らしい企画で感動」「とても見応えがあった」「こんな利用の仕方

方をお願いする発想が素晴らしい」「館山には美術館がないので楽しかった」「地元の方々がよく協力して運営

しているご努力に感謝した」「ボランティアの皆さんに感謝」「あらためて自分の育った土地の良さを実感した」「館山にいても知らない世界を見られて感動した」「わが母校が美術館になってうれ

しい」「館山の学校として誇らしく思い出させていただきました。」

館山の海を愛し、自ら「海洋の画家」と称した寺崎画伯は、海の作品をたくさん描いています。

壁画家であった画伯は、「作品の対角線から浮き上がるように描いている」と言っていたそうです。今回は

波が大きく揺れ動いているように見えまし

ともにローマで開催した日本美術展覧会の作品集や、青木繁の名が記された手帳など価値ある展示品も多彩にあり、今後の調査研究が期待されるところで

重要文化財「海の幸」を描いた青木繁だけでなく、日本美術史に大きな影響を与えた画家たちがこの地に住んでいたということは、私たち市民の誇りです。

夏には、渚の駅ギャラリーを会場に、小規模ながらも「館山の海を愛した画家たち展」を開催する予定です。

再び多くの皆さまにご覧いただければ幸いです。

念館（入館料200円、小中高100円）は土日のみの開催ですが、平日でも団体見学の予約を受け付けています。

「友の会」会員（年会費2000円）は、記念館の入館無料の他、会報でイベント情報などをお知らせしています。息長い維持運営とまちづくりの活動を目指し、皆さまのご理解ご支援をお寄せいただければ幸いです。

お問い合わせは電話0470-22-827

青木繁「海の幸」記

1. (青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会長)

お問い合わせは電話0470-22-827

青木繁「海の幸」記

お問い合わせは電話0470-22-827